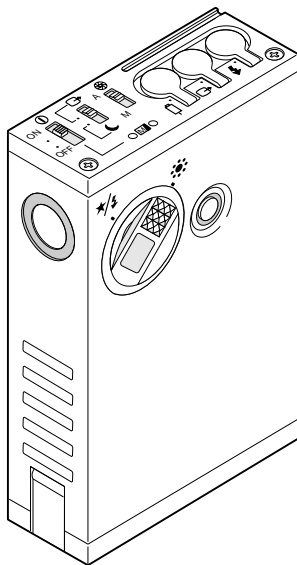


Panasonic

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

品番 WV-DS20



このたびは、デジタルスチルカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節約

保証書別添付

商品概要

本機は持ち運びに便利な小型デジタルスチルカメラです。大きさがシガレットサイズになっており、ポケットに入れて簡単に持ち運ぶことができます。撮影した画像は静止画のカラー画像（昼用モード設定時）としてコンパクトフラッシュカード（市販品）に保存されます。また、JPEG形式で保存されるためパソコンで画像を見ることができます。

JPEG（Joint Photographic coding Experts Group）：静止画像を1/10～1/100に圧縮する画像圧縮方式。本機は付属の設定メニュープログラムで圧縮方式を選べます。

付属品をご確認ください

フロッピーディスク（設定メニュープログラム）	1
取扱説明書（本書）	1
保証書	1

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

Macintoshは、米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。

Netscape Navigatorは、米国およびその他の国における米国Netscape Communications Corporation社の登録商標です。

CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、米国SanDisk社の商標です。

その他、本書で登場する製品名は一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	4
取り扱い上のご願い	7
各部の名前と働き	9
ご使用になる前の準備	
パソコンを使つての準備	10
カメラでの準備	12
撮影する	
カメラの持ちかた	17
マニュアルモードで撮影する	18
オートモードで撮影する	18
夜、撮影する	20
リモートシャッターを使って撮影する	20
モニター出力しながら撮影する	21

撮影した画像を見る

操作手順	22
コンパクトフラッシュカード内の 画像データを削除する	23

設定メニューについて

起動方法	24
時刻設定	27
サスペンド設定	28
間欠撮影	29
JPEG圧縮	30
エンドレス撮影	31

別売品リスト

故障と思われる前に

仕様

保証とアフターサービス

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因となります。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いが出ると火災の原因となります。

- ただちに電源スイッチをOFFにしてから、販売店にご連絡ください。

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

- ただちに電源スイッチをOFFにしてから販売店にご連絡ください。



警告

**専用の電源以外は
使用しない**



火災の原因となります。

禁 止

**風呂、シャワー室では
使用しない**



火災・感電の原因になります。

禁 止

**移動しながらの撮影は
絶対にしない**



禁 止

歩行中や自動車など乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。



注意

**電池は極性（ \oplus \ominus ）
を正しく入れる**



間違えると電池の破裂や液漏れにより火災やけが、周囲を汚損する原因となります。

取り扱い上のお願い

デジタルスチルカメラは0 ~ 50 の範囲内でご使用ください。

0 以下の寒い所や+50 以上の暑い所では、内部の部品に悪い影響を与え故障の原因になりますので避けてください。

湿気、ほこりの少ないところで

湿気やほこりの多いところで使用すると内部部品がいたみやすくなります。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー(めがねやカメラの清掃に使うもの)で行ってください。

バッテリーについて

バッテリーは専用のもの(別売品 WV-B20)をご使用ください。

< 使用可能時間 >

満充電で約30分使用可能です(マニュアルモード時)。

取り扱いにはていねいに

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

モニター出力端子について

モニターを接続しないときはモニター出力端子のカバーをきちんとしめてください。開けたままにしておくとカメラの故障の原因となる場合があります。

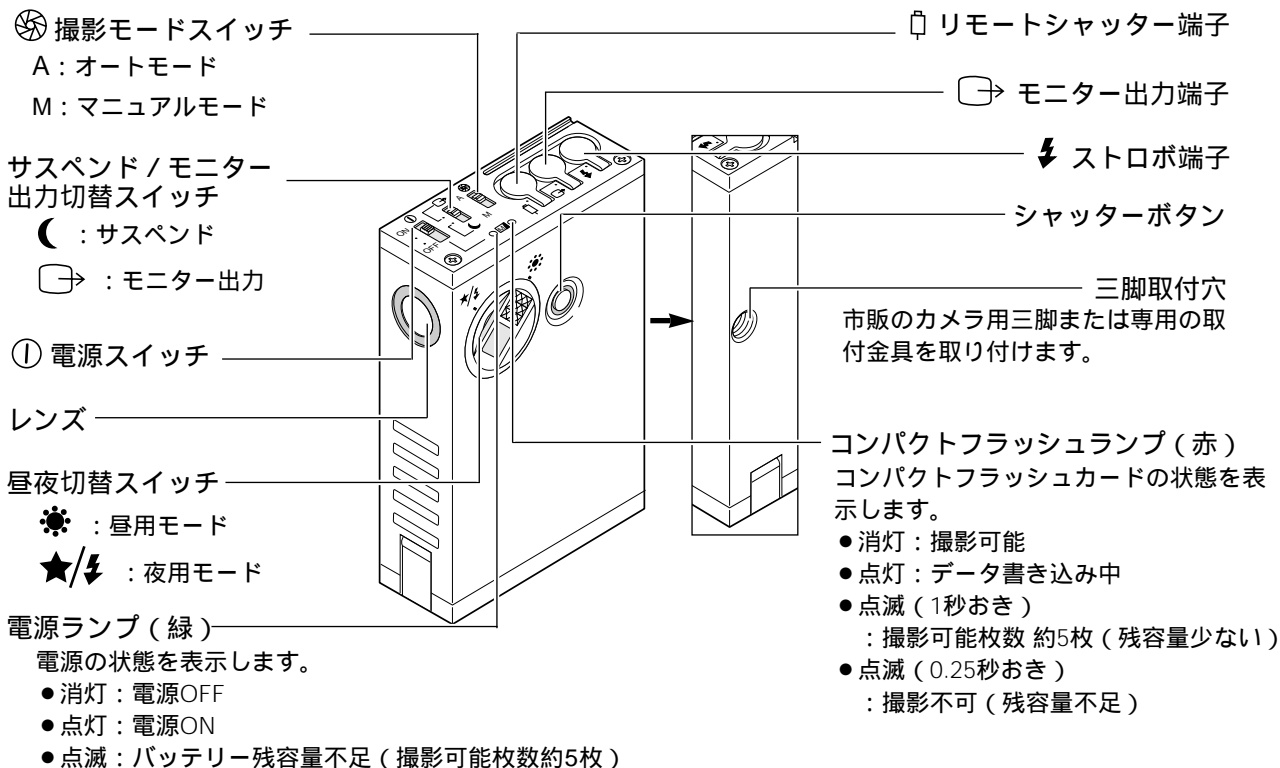
取り扱い上のお願い

コンパクトフラッシュカードについて

- 本機をご使用になる際には撮影した画像を保存するコンパクトフラッシュカード（市販品）が必要になります。本機での使用が確認できたコンパクトフラッシュカードについては32ページにそのリストを記載しています。
保存可能な画像枚数はお使いのコンパクトフラッシュカードの容量と画像の圧縮方式によって異なります。詳しくは30ページをお読みください。
- 設定ファイル以外、パソコンからコンパクトフラッシュカードに書き込まないでください。また、ファイル名など変更しないでください。パソコンなどで編集した画像データをコンパクトフラッシュカードに書き込むと、コンパクトフラッシュカードのファイル管理領域が破壊されファイルの読み書きができなくなる場合があります。

- 以下のような場合、コンパクトフラッシュカードを初期化し、改めて設定メニュープログラムの設定項目を設定し直すことをお勧めします。
 - ・ コンパクトフラッシュカード内のすべての画像データを削除するとき
初期化せずに撮影を続けると、削除されたファイルのうち、一番最後に撮影されたファイル名の次の番号のファイル名で、新しい画像データが保存されてしまいます。
 - ・ 撮影枚数が1万枚に達したとき
- コンパクトフラッシュカードを初期化したあと、データ領域に問題がないかスキャンディスクを実行し、確認してください。（スキャンディスクはWindows®95/98に標準装備されています）。データ領域に問題があったコンパクトフラッシュカードは使用しないでください。

各部の名前と働き



ご使用になる前の準備

ここではカメラを使う前の必要な準備について説明しています。カメラを使う前に必ずお読みください。また、OS（Operation System）がWindows®95/98でコンパクトフラッシュカードを読み込むことができるパソコンをご用意ください。例えば、PCMCIAスロットを持つパソコンであれば、PCカードアダプター（市販品）にコンパクトフラッシュカードを取り付け、PCMCIAスロットに挿入し、読み込ませることができます。

パソコンを使つての準備

1 コンパクトフラッシュカードを初期化する

コンパクトフラッシュカードにデータを保存できる状態にします。初期化はお使いのパソコンの画面表示に従って行ってください。詳細はお使いのコンパクトフラッシュカードの取扱説明書をお読みください。

2 設定メニュープログラムを起動し、各項目を設定する

付属のフロッピーディスクに入っている設定メニュープログラムを起動し、各項目を設定します。設定メニューの起動方法・各項目の設定方法など詳細は24ページをお読みください。

設定項目は次の5つです。

- 時刻設定
- 間欠撮影（オートモード撮影時の撮影間隔設定）
- サスペンド
- JPEG圧縮（撮影した画像の圧縮率の選択）
- エンドレス撮影

重要！

- 付属のフロッピーディスクに入っている設定メニュープログラム以外で設定しないでください。
- コンパクトフラッシュカード内に書き込まれた「cameradt.ini」ファイルは削除しないでください。
- 設定メニューの起動や設定はOS（Operation System）がWindows®95/98のパソコンを使用してください。Macintoshなどその他のOSのパソコンは使用できません。

各項目を設定すると

設定された内容はコンパクトフラッシュカードに書き込まれ、「cameradt.ini」ファイルが作成されます。カメラにその設定内容を読み込ませると、カメラを使用できるようになります（以下の内容をお読みください）。

カメラに設定内容を読み込ませるには

各項目の内容を設定・変更するときなど、コンパクトフラッシュカードの設定内容をカメラに読み込ませるときは、カメラの設定が以下になっているか確認してから、設定ボタンを押してください（16ページ）。以下の設定になっていないと、コンパクトフラッシュカードの設定内容がカメラに読み込まれません。

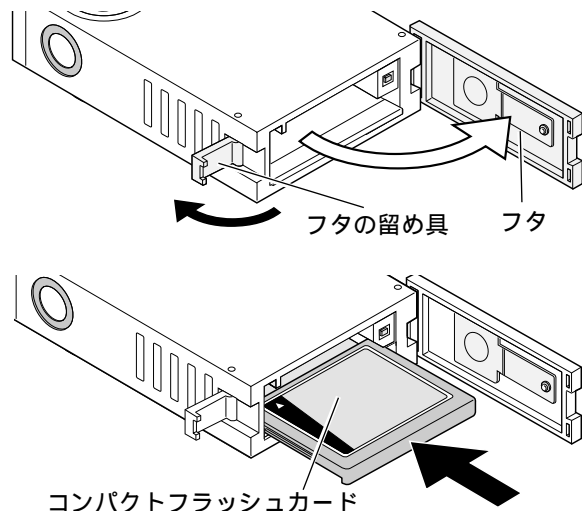
- ・電源がONになっているか
- ・サスペンド／モニター出力切換スイッチが「モニター」に設定されているか
- ・撮影モードが「マニュアルモード」に設定されているか

ご使用になる前の準備

カメラでの準備

1 コンパクトフラッシュカードをカメラに挿入する

カメラの電源がOFFになっていることを確認します。カメラ底面のフタの留め具を矢印の向きに外し、フタを開きます。設定済みのコンパクトフラッシュカードをイラストのように差し込みます。

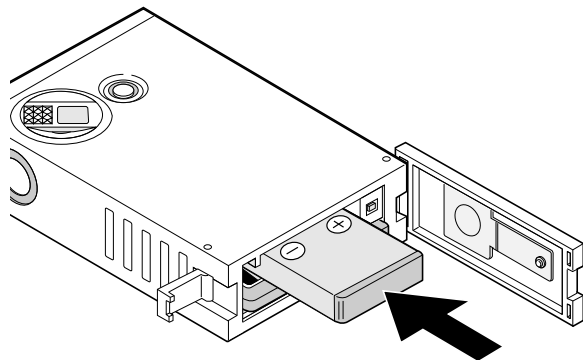


重要！

コンパクトフラッシュカードの抜き差しや交換をするときは必ずカメラの電源をOFFにしてから、上記の手順で行ってください。電源がONのときに行うと、カメラやコンパクトフラッシュカード内のデータが破損することがあります。

2 バッテリーを挿入する

バッテリー（別売品 WV-B20）の+と-の向きを確認して右図のようにしっかり奥まで挿入します。挿入したらフタを閉じてください。バッテリーは充電器（別売品 WV-BC20）を使ってあらかじめ充電しておいてください。充電方法については、充電器の取扱説明書をお読みください。



重要！

バッテリーを挿入するときなど、カメラの中に異物が入らないようにご注意ください。故障の原因となる場合があります。

バッテリーを交換するときは

バッテリーを交換するときは必ずカメラの電源をOFFにしてから、上記の手順で行ってください。

3 撮影モードを設定する

撮影はマニュアルモードとオートモードの2つの方法があります。コンパクトフラッシュカードに書き込まれた設定内容をカメラに読み込ませたいときには、マニュアルモードに設定してください。

マニュアルモード

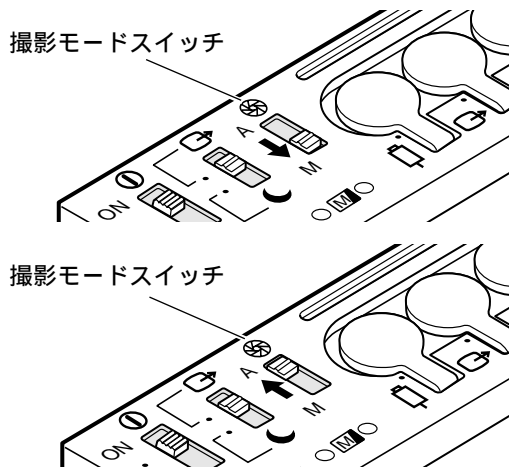
撮影したいときにシャッターボタンを押すことで撮影できます。カメラの電源がOFFであることを確認してから、撮影モードスイッチを「M」に設定します。

オートモード

あらかじめ設定しておいた一定の間隔で自動的に撮影します。カメラの電源がOFFであることを確認してから、撮影モードスイッチを「A」に設定します。撮影間隔の設定は29ページをお読みください。

重要！

マニュアルモードとオートモードを切り替えるときは、カメラの電源をOFFにしてから撮影モードスイッチを設定してください。電源をONのまま撮影モードスイッチを切り替えてもモードは切り替わりません。



4 電源をONにする

電源スイッチをONにします。電源をONにしたら以下のことを確認してください。

- コンパクトフラッシュランプが消えていること
- 電源ランプが点灯（緑）していること

コンパクトフラッシュランプが点滅（赤）しているときは

コンパクトフラッシュランプが点滅しているときは以下の状態を示しています。

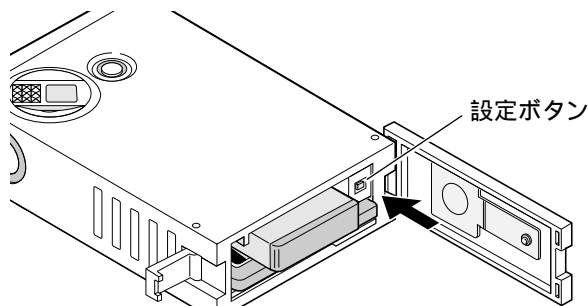
- | | |
|-------------------|--|
| • カードを挿入していない | カードを挿入してください。 |
| • カードが不良 | 別のカードに交換してください。 |
| • カードの容量が少なくなっている | } エンドレス撮影を設定するか、別のコンパクトフラッシュカードに交換、または不要な画像データを削除してください（エンドレス撮影の設定方法は31ページ、撮影した画像の削除方法は23ページをお読みください）。 |
| • カードの容量が無くなっている | |

電源ランプが点滅（緑）しているときは

電源ランプが点滅しているときは電池残量が少なくなっています。充電された電池に交換するか充電してください（充電方法についてはバッテリー充電器（別売品WV-BC20）の取扱説明書をお読みください）。

5 設定ボタンを押す

設定ボタンを押すと、コンパクトフラッシュカード内に書き込まれていた内容がカメラに読み込まれます。



重要！

カメラの設定が以下のようにになっているか確認してから、設定ボタンを押してください。以下の設定になっていないとコンパクトフラッシュカード内に書き込まれていた内容がカメラに読み込まれません。

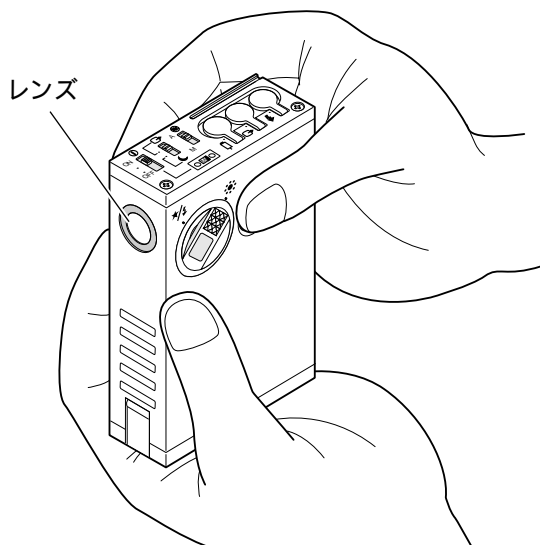
- 電源がONになっているか
- サスペンド / モニター出力切換スイッチが「モニター」に設定されているか
- 撮影モードが「マニュアルモード」に設定されているか

撮影する

ここでは撮影のしかたについて説明しています。撮影はマニュアルモードとオートモードの2つの方法のどちらかで撮影できます。撮影された画像はJPEG形式のカラー画像（昼用モード設定時）としてコンパクトフラッシュカードに保存されます。

カメラの持ちかた

カメラを手で持って撮影するときは、イラストのように持ち、レンズを被写体へ向けて撮影します、カメラを持つときに、手でレンズを触らないようにご注意ください。



マニュアルモードで撮影する

撮影したいときにシャッターボタンを押すことで撮影できます。保存されている間はコンパクトフラッシュランプが約2秒間点灯（赤）します。この間、撮影することはできません。

サスペンドが作動していると

- シャッターボタンを押したときに電源がONになるため、撮影されるのはシャッターボタンを押してから約0.5秒後になります。シャッターボタンを押してからしばらくはカメラを動かさないでください（サスペンド設定の詳細は28ページをお読みください）。
- 1分おきに約1秒間、電源ランプが点灯します。電源ランプが点灯しないときは電池が消耗しています。電池を交換してください。

オートモードで撮影する

あらかじめ設定しておいた一定の間隔で自動的に撮影します（撮影間隔の設定は29ページをお読みください）。保存されている間はコンパクトフラッシュランプが約2秒間点灯（赤）します。この間、撮影することはできません。

オートモードを設定しているときでも

オートモードを設定しているときでもシャッターボタンを押して撮影することができます。シャッターボタンを押して撮影しても、オートモードの撮影間隔には影響しません。

サスペンドが作動していると

- 撮影設定時間の約5秒前に電源がONになり撮影されます（サスペンド設定の詳細は28ページをお読みください）。
- 電源がONになると5秒後に1枚目が撮影されます。1枚目が撮影されてから1分以内に2枚目が撮影されます。2枚目の撮影以降から設定されている間隔で間欠撮影を行います。

サスペンドについて

サスペンドとはあらかじめ設定した時間が経過すると、電池の消耗を防ぐためにカメラの電源を自動的にOFFにする機能です。カメラの電源がOFFになっていることを確認して、サスペンド/モニター出力切替スイッチをサスペンドに設定してください。お買い上げ時、サスペンドは10秒に設定されています。サスペンドするまでの時間設定については28ページをお読みください。

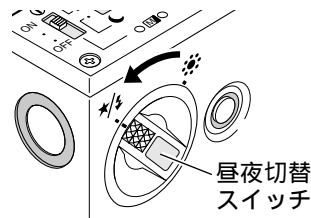
重要！

サスペンド/モニター出力切替スイッチはサスペンドかモニター出力（カメラをモニターにつなげて画像を見ながら撮影する）のどちらかにしか設定できません。また、サスペンドにするとモニターをつなげていても画像はモニターに出力されません。

撮影する

夜、撮影する

夜、撮影するときはカメラにストロボユニット（別売品 WV-QS20）をセットし、ストロボユニットの電源を入れ、昼夜切替スイッチを夜用に設定してください。セットのしかたはストロボユニット（別売品 WV-QS20）の取扱説明書をお読みください。



重要！

- 昼夜切替スイッチは指針がイラストのようにきちんと合うまでしっかり回してください。
- 夜用モードで撮影すると画像は白黒になります。

リモートシャッターを使って撮影する

カメラを壁や天井に取り付けている場合など、カメラのフラッシュボタンを押せないときにリモートシャッターで撮影することができます。リモートシャッターについての詳細は販売店にお尋ねください。

操作方法

カメラの電源をOFFにしてから、カメラのリモートシャッター端子にリモートシャッターを差し込み、再度カメラの電源をONにしてください。

オートモードを設定しているときでも

オートモードを設定しているときでも、リモートシャッターを使って撮影することができます。

モニター出力について

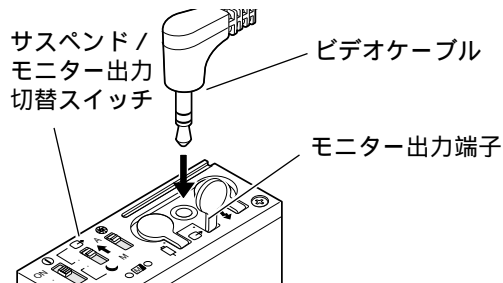
リモートシャッターを接続していても、モニターで画像を見ながら撮影することができます。

モニター出力しながら撮影する

カメラを壁や天井などに設置して、モニターで画像を確認しながら撮影できます。

操作方法

カメラの電源をOFFにしてから、カメラのモニター出力端子にビデオケーブル（別売品 WV-PS20 付属品）を接続します。カメラのサスペンド/モニター出力切替スイッチをモニター出力に設定し、再度電源をONにしてください。



重要！

- モニターを接続していても、サスペンド/モニター出力切替スイッチをサスペンドにすると、モニターに画像は出力されません。
- サスペンド/モニター出力切替スイッチの設定は必ずカメラの電源をOFFにしてから行ってください。
- モニターに接続しているときはバッテリーを消耗しますので、カメラにACアダプター（別売品 WV-PS20）を接続して電源を供給しながら使用されることをおすすめします。ACアダプターの接続方法についてはACアダプターの取扱説明書をお読みください。
- モニターを接続しないときはモニター出力端子のカバーをきちんとしめてください。開けたままにしておくとカメラの故障の原因となる場合があります。

リモートシャッターについて

モニターを接続していてもリモートシャッターを使って撮影できます。

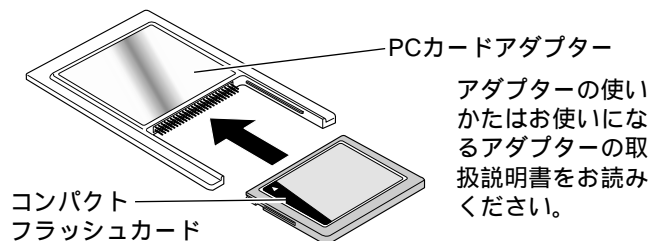
撮影した画像を見る

撮影した画像をパソコンで確認できます。撮影した画像はコンパクトフラッシュカードを読み込むことができるパソコンで見ることができます。ここでは、例としてPCMCIAスロットを持つパソコンを使って画像を見る方法を説明します。

操作手順

1 コンパクトフラッシュカードをパソコンに挿入する

イラストのようにコンパクトフラッシュカードをPCカードアダプター（市販品）に装着し、パソコンに挿入します。



2 コンパクトフラッシュカード内の撮影された画像が保存されているフォルダーを開く

撮影された画像はコンパクトフラッシュカードの¥DSC¥DSC_0x x x（0～9の数字3けた）フォルダーに、「File x x x x（0～9の数字4けた）.JPG」というファイル名で保存されます。1つのフォルダーに50枚まで保存でき、ファイル名の数字部分「x x x x」が「File0000」「File0001」・・・「File9999」まで1つずつ増えていきます。同様に、フォルダー名の数字部分「0x x x」も「DSC_0000」「DSC_0001」「DSC_0002」・・・「DSC_0199」まで1つずつ増え、最大200フォルダーまで作成できます。

3 JPEG形式の画像データを閲覧できるアプリケーションで開く

フォルダーに入っている画像データをJPEGが閲覧できるアプリケーション（例えば、Microsoft® Internet Explorer や Netscape Navigator® など）で開くと、撮影した画像が表示されます。JPEGが閲覧できるアプリケーションの操作方法などの詳細はアプリケーションの取扱説明書をお読みください。

コンパクトフラッシュカード内の画像データを削除する


撮影した画像データはJPEGファイルとしてコンパクトフラッシュカードに保存されています。Windows®95/98をご使用の場合、削除したい画像データを選択してごみ箱へドラッグし、ごみ箱を空にします。削除方法の詳細についてはお使いのパソコンの取扱説明書をお読みください。

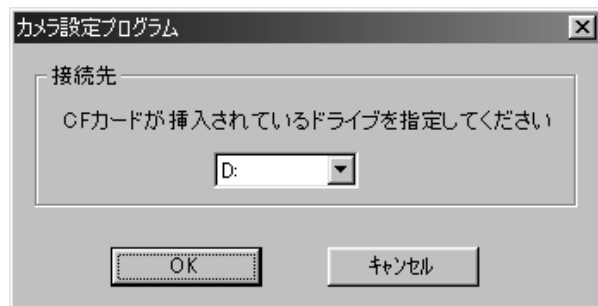
設定メニューについて

カメラを使用するときに必要な項目を設定します。設定は付属のフロッピーディスクに入っている「カメラ設定プログラム」を使って行います。設定された内容はコンパクトフラッシュカードに書き込まれ、カメラにコンパクトフラッシュカードを挿入し設定ボタンを押すと、カメラがその設定を自動的に読み込みます。

起動方法

カメラを使用するときに必要な項目を設定するため、設定メニュープログラムを起動します。

- 1 カメラ付属のフロッピーディスクをパソコンに挿入し、フロッピー内に「WVDS.exe」があることを確認します。
- 2 「WVDS.exe」をパソコンのハードディスクにコピーします。
- 3 パソコンのハードディスクにコピーした「WVDS.exe」をマウスでダブルクリックします。コンパクトフラッシュカードを挿入しているドライブを選択する画面が表示されますので、ドライブを指定し、マウスで  をクリックします。



4 設定メニュープログラムが起動します。

設定項目は次の5つです。

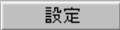

- 時刻設定
- サスペンド
- 間欠撮影（オートモード撮影時の撮影間隔設定）
- JPEG圧縮（撮影した画像の圧縮率の選択）
- エンドレス撮影

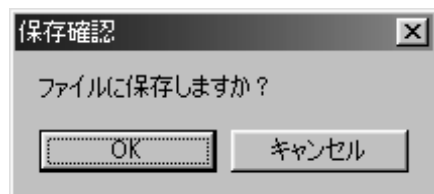
各項目の設定方法の詳細については27～31ページをお読みください。



設定メニュープログラム

設定メニューについて

- 5 各項目を設定したら、マウスで  をクリックします。保存を確認する画面が表示されたら、  をクリックします。設定した内容がコンパクトフラッシュカードに書き込まれます。



重要！

- 付属のフロッピーディスクに入っている設定メニュープログラム以外で設定しないでください。
- コンパクトフラッシュカード内に書き込まれた「cameradt.ini」ファイルは削除しないでください。
- 設定メニューの起動や設定はOS（Operation System）がWindows®95/98のパソコンを使用してください。Macintoshやその他のOSのパソコンは使用できません。

時刻設定

カメラの日時を設定します。



設定方法

マウスで **現在日時** ボタンをクリックすると、パソコンに設定されている時刻が設定されます。また、年月日時分を入力することもできます。数字は半角文字で入力してください。

正確な時刻を設定するには

あらかじめ進んだ時刻を設定しておき、その時刻に合わせてカメラの設定ボタンを押すようにしてください。カメラに設定される日時は、カメラの設定ボタンを押したときにコンパクトフラッシュカードに書き込まれている日時データとなります。コンパクトフラッシュカードに書き込まれている時刻とカメラに差し込んで時刻設定ボタンを押した時刻に間隔があくと、設定される時刻が遅れてしまいますのでご注意ください。

電池が切れてから、または電池を抜いてから24時間が経過すると

設定されていた日付と時刻は「1990年1月1日00時00分」にリセットされます。電池が切れてから、または電池を抜いてから約24時間以上経過したあとにカメラを使用する場合は再度、日時を設定し直してください。ただし、カメラの環境条件によっては電池を抜いてから時刻がリセットされる時間が短くなることがあります。

設定メニューについて

サスペンド設定

サスペンドとはあらかじめ設定した時間が経過すると、電池の消耗を防ぐために自動的に電源をOFFにする機能です。お買い上げ時、サスペンドは10秒に設定されています。

設定方法

サスペンドが起動するまでの時間を入力します。数字は半角文字で入力してください。

重要！

- サスペンド / モニター出力切り替えスイッチをサスペンドに設定してください。
- サスペンド / モニター出力切り替えスイッチの設定は必ずカメラの電源をOFFにしてから行ってください。

設定できる時間の範囲は

0分 0秒 ~ 59分 59秒までです。

間欠撮影（オートモード撮影時の撮影間隔設定）

オートモード（あらかじめ設定しておいた一定の間隔で自動的に撮影）設定時の撮影間隔を設定します。お買い上げ時は1分間隔に設定されています。

設定方法

撮影間隔と時刻の範囲を入力します。数字は半角文字で入力してください。

例）：朝10時から午後2時まで15分間隔で撮影したいとき
「0時間 15分 0秒」「10時 14時」と入力します。

設定できる撮影間隔時間の範囲は

0時間 0分 4秒 ~ 17時間 59分 59秒までです。

設定した撮影間隔で時刻の範囲を設定せずに撮影したいときは

開始時刻と終了時刻に同じ時間を設定してください。

サスペンドが設定されていると

カメラのサスペンド/モニター切替スイッチを「サスペンド」に設定している場合、撮影間隔を「秒」に設定すると「分」に切り上げられます。「秒」に設定するときは「モニター」に設定してください。

設定メニューについて

JPEG圧縮（撮影した画像の圧縮率の選択）

撮影した画像をJPEG形式でコンパクトフラッシュカード内に保存するときの画像圧縮率を設定します。圧縮率は以下の二つのどちらかを選択することができます。お買い上げ時は「固定長圧縮」が設定されています。

固定長圧縮：

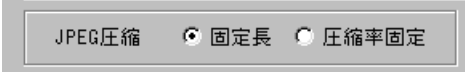
撮影した画像のファイルサイズを約80 Kbyteに固定して圧縮率を変動させます。容量が48 Mbyteのコンパクトフラッシュカードをお使いの場合、保存できる画像の枚数は約600枚になります。

圧縮率固定：

撮影した画像の圧縮率を固定します。圧縮率が固定されているため画質を一定に保つことができます。しかし、画像によってファイルサイズが変動するため、コンパクトフラッシュカードへ保存できる枚数が撮影した画像によって異なります。

設定方法

固定長圧縮と圧縮率固定のどちらかをチェックしてください。



JPEG圧縮 ☒ 固定長 ☐ 圧縮率固定

圧縮率固定を選択しているときは

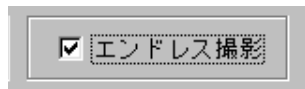
エンドレス撮影（31ページ）は設定できません。

エンドレス撮影

コンパクトフラッシュカードの容量がいっぱいになったときに、撮影した画像データを古い画像データから順に削除して、新しいファイル名を付けて保存していきます。カメラを壁などに設置して、オートモードで撮影するときなどに便利な機能です。エンドレス撮影で記録できる枚数は約10万枚です。

設定方法

JPEG圧縮が「固定長圧縮」に設定されていることを確認します。(30ページ)。設定を確認したあと、「カメラ設定プログラム」画面の「エンドレス撮影」チェックボックスをチェックしてください。



重要！

- JPEG圧縮で「圧縮率固定」(30ページ)を設定しているときは、エンドレス撮影は設定できません。
- エンドレス撮影時、画像データはコンパクトフラッシュカードの空いている領域に自動的に保存されます。そのとき、空いている領域を検索するのに、最大約10秒かかることがあります。間欠撮影(29ページ)の撮影間隔を10秒以下の短い間隔で設定していると、撮影間隔が多少ずれる可能性があります。
- コンパクトフラッシュカードの残容量がなくなると、撮影された日時に関係なく、ファイル名の数字部分が小さい番号のファイルから自動的に削除され、新しいファイルとして画像データが保存されます。

別売品リスト

品名	品番	備考
バッテリー	WV-B20	
バッテリー充電器	WV-BC20	WV-B20専用
ACアダプター（ビデオケーブル付き）	WV-PS20	電源供給用アダプター
取付金具	WV-QT20	取り付け用金具（壁など）
ストロボユニット	WV-QS20	赤外線フラッシュ

確認済みコンパクトフラッシュカードリスト

メーカー	製品名
SanDisk	SanDisk4M
	SanDisk8M
	SanDisk15M
	SanDisk20M
	SanDisk30M
	SanDisk40M
	SanDisk48M
TDK	TC008NS
	TC016HS
	TC032HS
	TC048HS

メーカー	製品名
IODATA	PCCF-4MS
	PCCF-10MS
	PCCF-15MS
	PCCF-A30MS
	PCCF-40MS
	PCCF-48MS

故障と思われる前に

症状	確認していただく内容
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーが消耗していませんか？● ACアダプターのコネクタが電池型ソケットから外れていませんか？
シャッターボタンを押しても撮影できない	<ul style="list-style-type: none">● コンパクトフラッシュカードは入っていますか？● コンパクトフラッシュカードの容量が無くなっていますか？● コンパクトフラッシュカードに画像が保存されている最中ではありませんか？● コンパクトフラッシュカードがこわれていませんか？
ストロボ撮影ができない	<ul style="list-style-type: none">● 昼夜切替スイッチが夜用に設定されていますか？（指針がきちんとあっていますか？）● ストロボユニット（別売品）に乾電池が入っていますか？● ストロボコードをストロボ端子に接続していますか？
サスペンドしない、または画像がモニターに出力しない	<ul style="list-style-type: none">● サスペンド / モニター出力切替スイッチがきちんと設定されていますか？● サスペンド / モニター出力切替スイッチの切り替えはカメラの電源をOFFにしてから行いましたか？

仕様

基本仕様

電源	リチウムイオン電池(WV-B20) 専用AC電源アダプター(WV-PS20)
使用温度範囲	0 ~ + 50
寸法	21(幅) × 55(奥行) × 85(高さ) mm
質量	約 90 g
仕上げ	マンセルN2 (黒) 樹脂色
防水性	IPX4 (JIS防まつ型相当)

映像画素・レンズ

撮像素子	VGA (35 万画素)
レンズ	単焦点レンズ
画角	水平 51 °
撮影距離	1 m ~
最低照度	40 lx
逆光補正	あり
ホワイトバランス	自動
露出制御	自動

機能

記録媒体	コンパクトフラッシュカード
撮影間隔	カラー画像 (ストロボ未使用時) <ul style="list-style-type: none">● 通常撮影 2 秒● サスペンド設定時撮影 2.5 秒 白黒画像 (ストロボ使用時) <ul style="list-style-type: none">● 10 ~ 30 秒 (ストロボの乾電池の状態による)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書 (別添付)

必ずお買い上げの販売店からお買い上げ日・
販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取
り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼されるとき

33ページの「故障と思われる前に」に従って
ご確認のあと直らないときは、まず電源を切
ってから、お買い上げの販売店へご連絡くだ
さい。

保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店
が修理させていただきますので、恐れ入り
ますが、商品に保証書を添えてご持参くだ
さい。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望
により有料で修理させていただきます。ただし、
デジタルスチルカメラの補修用性能部品の最低
保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維
持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構
成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理及び部品交
換・調整・修理完了時の点検など
の作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材
料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣す
る場合の費用です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ年月日	年 月 日	品番 WV-DS20
販 売 店 名	☎ () -	

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

N0100-1010

V8QA5262BN